

2-1 北海道地方とその周辺の地震活動（2025 年 5 月～10 月） Seismic Activity in and around the Hokkaido District (May – October 2025)

気象庁 札幌管区気象台
Sapporo Regional Headquarters, JMA

今期間、北海道地方とその周辺で M4.0 以上の地震は 122 回、M5.0 以上は 19 回発生した。このうち最大は、2025 年 6 月 2 日に十勝沖で発生した M6.1 の地震であった。

2025 年 5 月～10 月の M4.0 以上の地震の震央分布を第 1 図 (a) 及び (b) に示す。青森県東方沖から北海道東方沖における、2025 年 5 月と 6 月の主な地震活動と 1919 年以降の主な被害地震の分布を第 1 図 (c) に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 十勝地方中部の地震 (M4.7, 最大震度 4, 第 2 図)

2025 年 5 月 15 日 22 時 05 分に十勝地方中部の深さ 95km で M4.7 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構は太平洋プレートの傾斜方向に張力軸を持つ型である。

(2) 浦河沖の地震 (M5.4, 最大震度 4, 第 3 図 (a)～(b))

2025 年 5 月 23 日 06 時 28 分に浦河沖の深さ 53km で M5.4 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

(3) 十勝地方南部の地震 (M5.3, 最大震度 4, 第 4 図 (a)～(b))

2025 年 5 月 26 日 17 時 47 分に十勝地方南部の深さ 50km で M5.3 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

(4) 北海道東方沖の地震 (M5.5, 最大震度 3, 第 5 図)

2025 年 5 月 30 日 07 時 23 分に北海道東方沖の深さ 31km (CMT 解による) で M5.5 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

(5) 釧路沖の地震 (M6.0, 最大震度 4, 第 6 図 (a)～(c))

2025 年 5 月 31 日 17 時 37 分に釧路沖の深さ 20km で M6.0 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は陸のプレート内で発生した。発震機構 (CMT 解) は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。また、同日 17 時 39 分にほぼ同じ場所の深さ 12km で M5.0 の地震が発生した。

(6) 十勝沖の地震 (M6.1, 最大震度 4, 第 7 図 (a)～(b))

2025 年 6 月 2 日 03 時 51 分に十勝沖の深さ 27km で M6.1 の地震 (最大震度 4) が発生した。また、

同月 3 日 22 時 18 分にほぼ同じ場所の深さ 33km で M5.2 の地震（最大震度 3）が発生した。これらの地震の発震機構（CMT 解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

(7) 根室半島南東沖の地震（M6.0, 最大震度 4, 第 8 図）

2025 年 6 月 19 日 08 時 08 分に根室半島南東沖の深さ 25km で M6.0 の地震（最大震度 4）が発生した。また、同月 22 日 06 時 23 分にほぼ同じ場所の深さ 24km で M6.0 の地震（最大震度 3）が発生した。これらの地震の発震機構（CMT 解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

(8) 十勝地方南部の地震（M5.2, 最大震度 4, 第 9 図）

2025 年 7 月 28 日 12 時 10 分に十勝地方南部の深さ 51km で M5.2 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震の発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

(9) 釧路沖の地震（M5.4, 最大震度 3, 第 10 図）

2025 年 8 月 2 日 07 時 27 分に釧路沖の深さ 13km で M5.4 の地震（最大震度 3）が発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ型である。

(10) 釧路沖の地震（M5.5, 最大震度 3, 第 11 図）

2025 年 8 月 12 日 18 時 11 分に釧路沖の深さ 22km で M5.5 の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は陸のプレート内で発生した。発震機構（CMT 解）は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

(11) 渡島地方東部の地震（M5.1, 最大震度 3, 第 12 図）

2025 年 8 月 19 日 07 時 19 分に渡島地方東部の深さ 133km で M5.1 の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は太平洋プレート内部（二重地震面の上面）で発生した。発震機構は太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

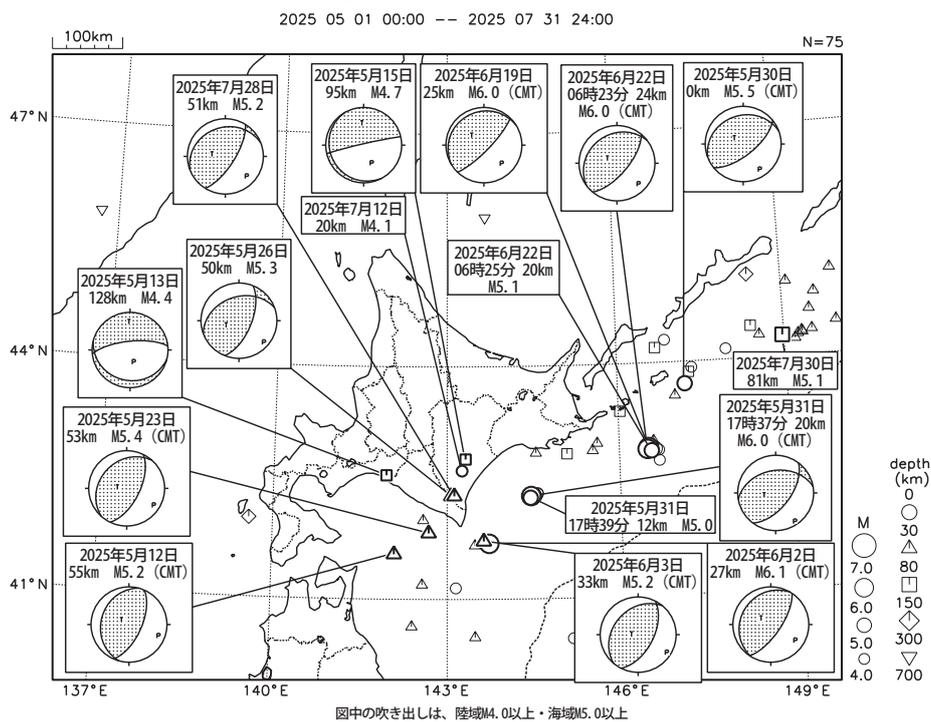
(12) 釧路沖の地震（M5.1, 最大震度 4, 第 13 図 (a)～(b)）

2025 年 10 月 22 日 18 時 17 分に釧路沖の深さ 43km で M5.1 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

(13) 根室半島南東沖の地震（M5.8, 最大震度 5 弱, 第 13 図 (a)）

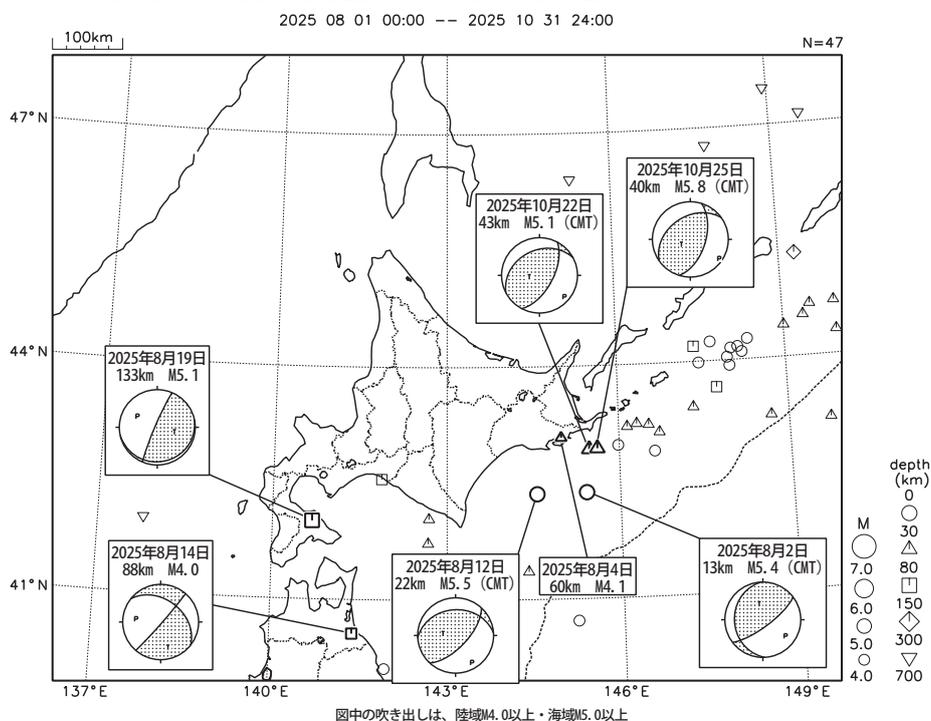
2025 年 10 月 25 日 01 時 40 分に根室半島南東沖の深さ 40km で M5.8 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

北海道地方とその周辺の地震活動(2025年5月~7月、 $M \geq 4.0$)



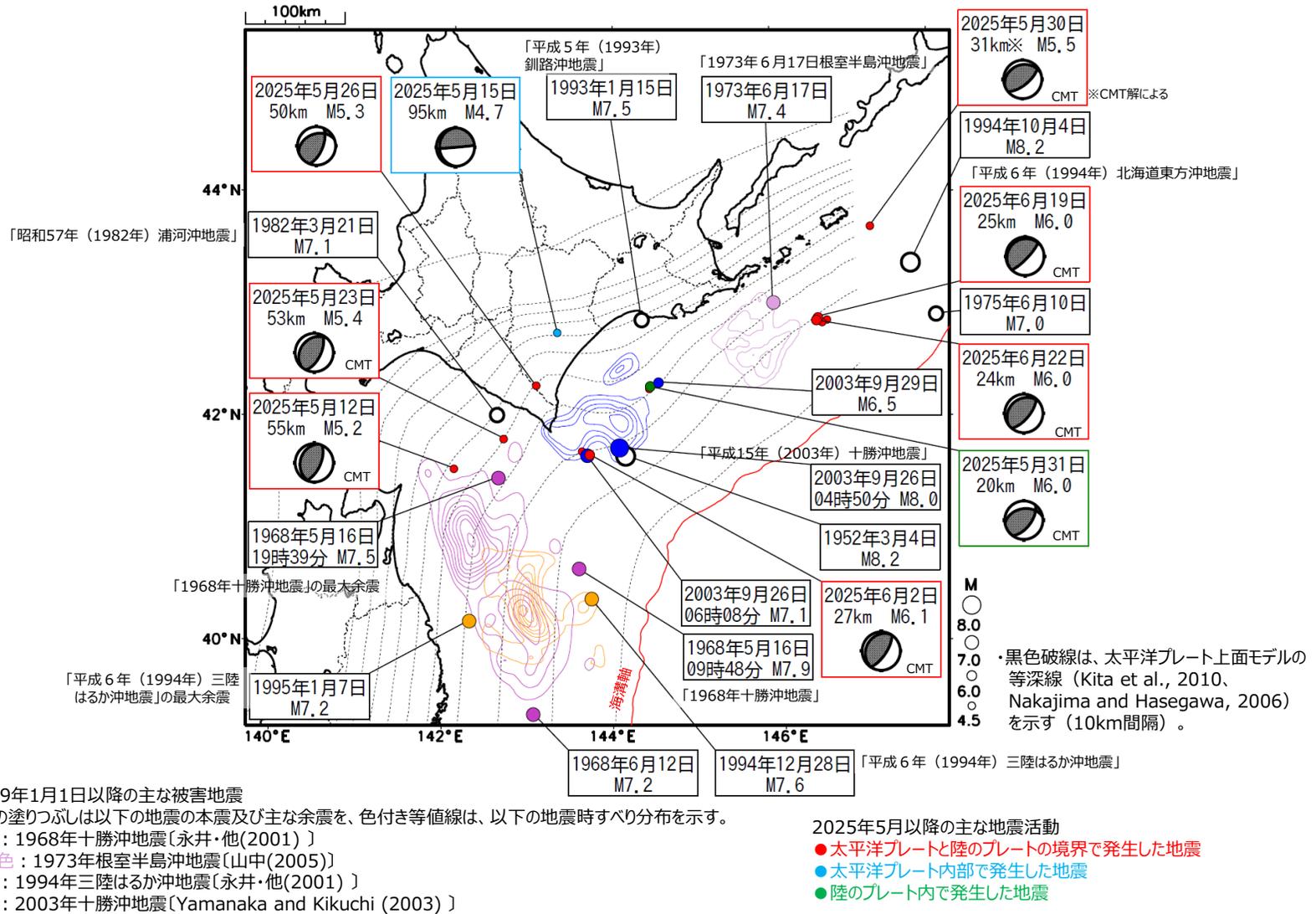
第 1 図 (a) 北海道地方とその周辺の地震活動 (2025 年 5 月 ~ 7 月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)
 Fig. 1(a) Seismic activity in and around the Hokkaido district (May – July 2025, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

北海道地方とその周辺の地震活動(2025年8月~10月、 $M \geq 4.0$)



第 1 図 (b) つづき (2025 年 8 月 ~ 10 月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)
 Fig. 1(b) Continued (August – October 2025, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

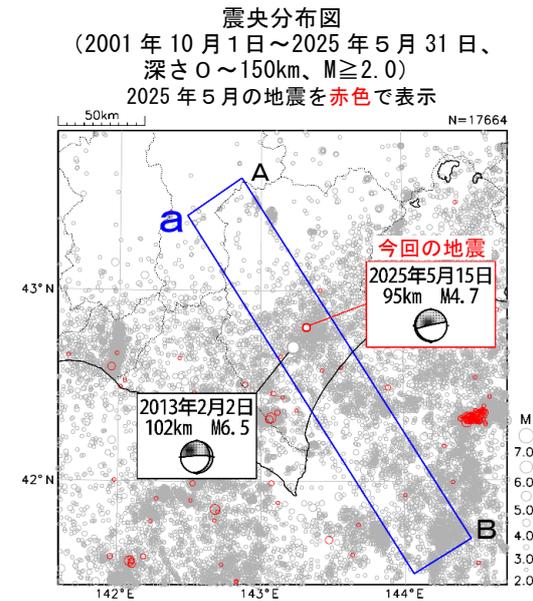
2025年5月以降の主な地震活動と1919年以降の主な被害地震（青森県東方沖～北海道東方沖）



第1図(c) 2025年5月と6月の主な地震活動と1919年以降の主な被害地震（青森県東方沖～北海道東方沖）

Fig. 1(c) Major seismic activity in May and June 2025 and major damaging earthquakes since 1919 (offshore east of Aomori Prefecture - offshore east of Hokkaido).

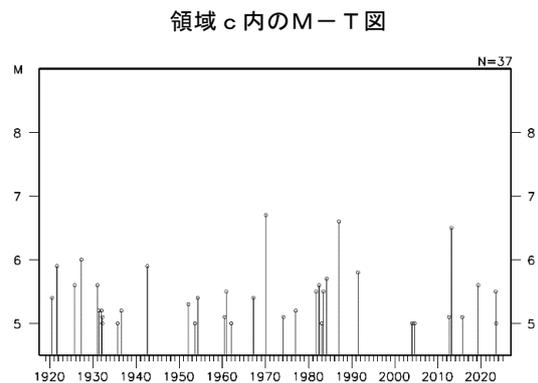
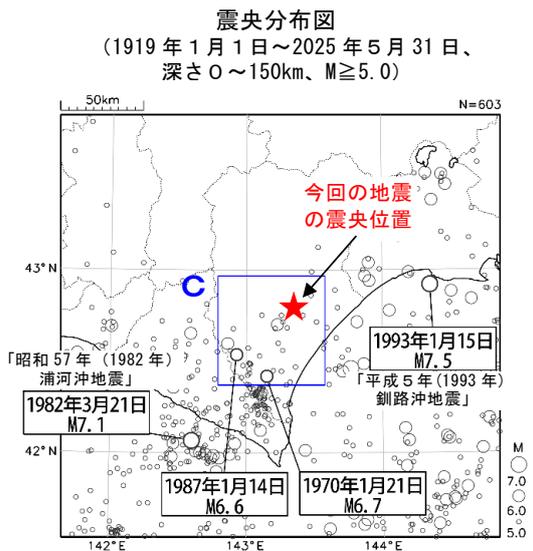
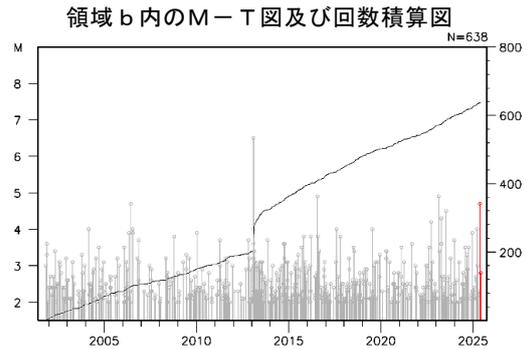
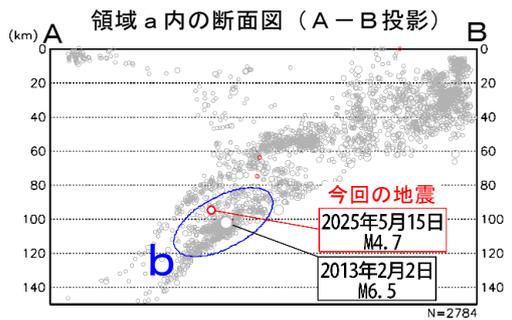
5 月 15 日 十勝地方中部の地震



2025 年 5 月 15 日 22 時 05 分に十勝地方中部の深さ 95km で $M4.7$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構は太平洋プレートの傾斜方向に張力軸を持つ型である。

2001 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M4.0$ 以上の地震が時々発生している。 $M5.0$ 以上の地震は 1 回発生しており、2013 年 2 月 2 日の $M6.5$ の地震 (最大震度 5 強) では、負傷者 14 人、住家一部破損 1 棟の被害が生じた (総務省消防庁による)。

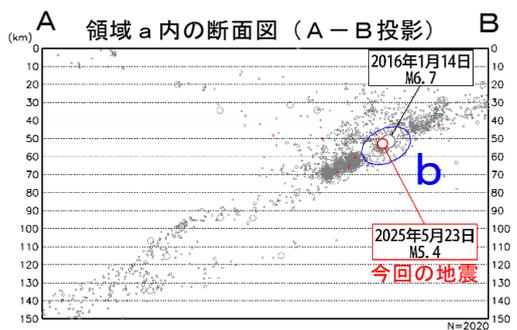
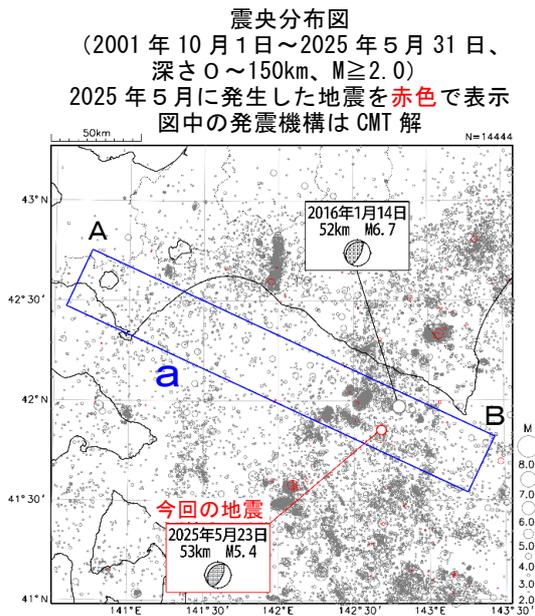
1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M6.0$ 以上の地震がまれに発生しており、1970 年 1 月 21 日に発生した $M6.7$ の地震 (最大震度 5) により、負傷者 32 人、住家被害 148 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。



第 2 図 2025 年 5 月 15 日 十勝地方中部の地震

Fig. 2 The earthquake in the central part of Tokachi region on May 15, 2025.

5 月 23 日 浦河沖の地震

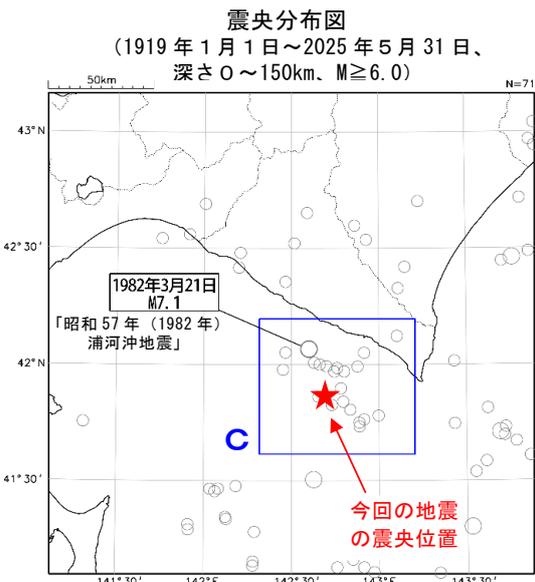
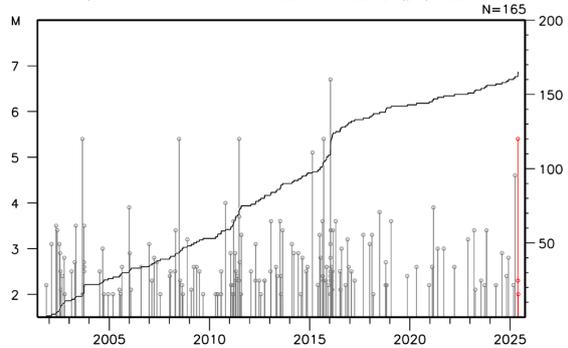


2025 年 5 月 23 日 06 時 28 分に浦河沖の深さ 53km で $M 5.4$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

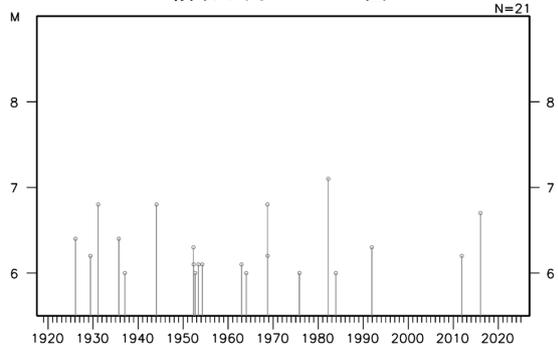
2001 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生しており、2016 年 1 月 14 日には $M 6.7$ の地震 (最大震度 5 弱) が発生し、負傷者 2 人の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。「昭和 57 年 (1982 年) 浦河沖地震」 ($M 7.1$ 、最大震度 6) では、北海道浦河で 78cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波など、北海道と東北地方の太平洋沿岸で津波を観測した (「験震時報第 47 巻」による)。また、負傷者 167 人、建物被害 210 棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

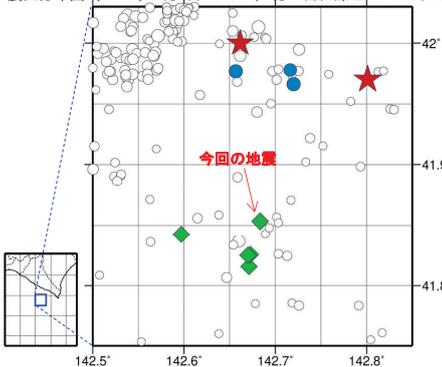


第 3 図 (a) 2025 年 5 月 23 日 浦河沖の地震

Fig. 3(a) The earthquake off Urakawa on May 23, 2025.

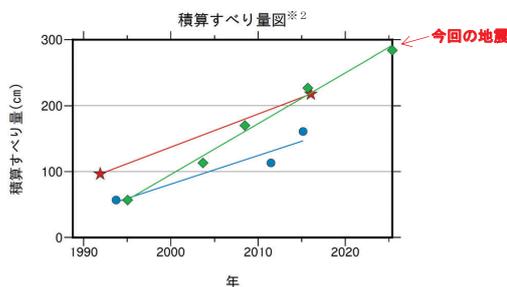
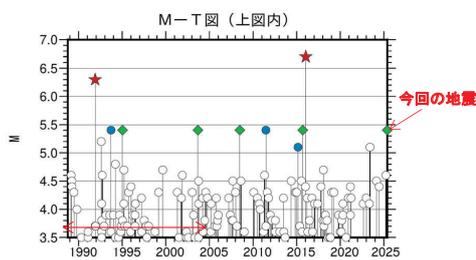
5月23日の浦河沖の地震（相似地震）

浦河沖で発生した2025年5月23日(M5.4、最大震度4)の地震について、
 強震波形による相関解析を行った結果、既往の相似地震グループの最新の相似地震として検出された(グループC)^{※1}。
 震央分布図(1988年10月1日~2025年5月23日、深さ0~90km、M \geq 3.5)



発生間隔と推定年平均すべり量^{※2}

グループ	回数	平均M	震度		発生間隔		平均すべり量 (cm/年)	
			最大	最小	最短	最大		
★ A	2	6.50	A	4	24.13	24.13	24.13	5.05
● B	3	5.30	4	3	10.72	3.66	17.79	4.33
◆ C	5	5.40	4	3	7.59	4.82	9.69	7.71

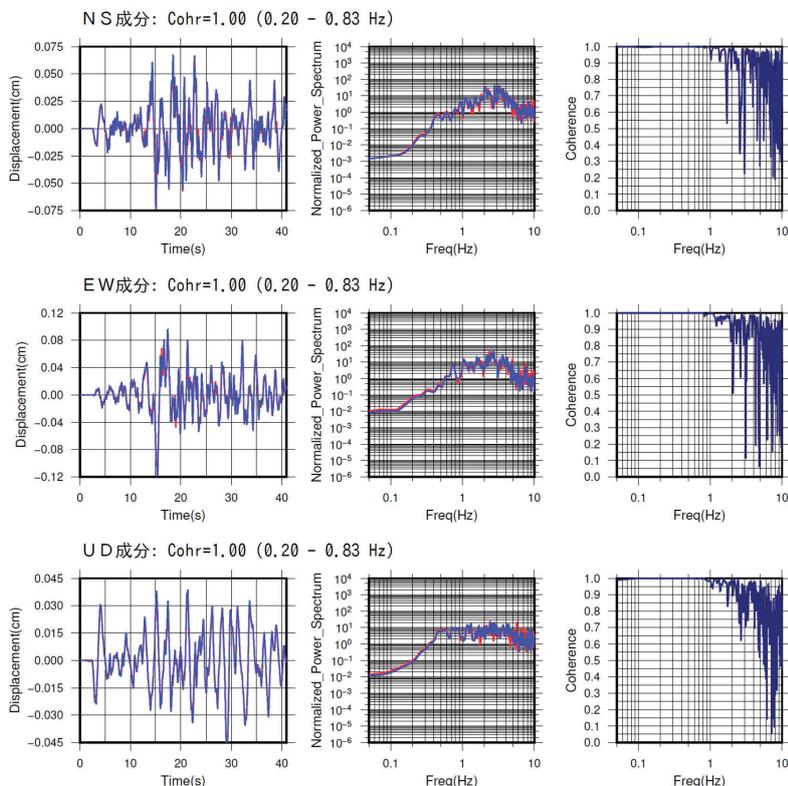
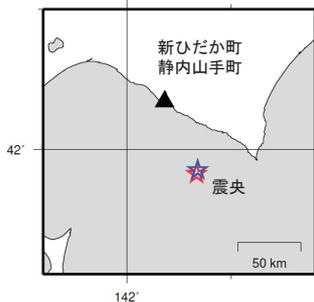


赤矢印の期間は波形収集基準と観測点密度の違いが相似地震検出に影響している可能性がある。

※1 各観測点の波形の比較で得られたコヒーレンスの中央値が0.95以上の場合に相似地震として検出し、相似地震のグループ分けはコヒーレンスを用いて機械的に行っている[瀧淵ほか、2014]。
 ※2 すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式[Hanks and Kanamori(1979)]及び地震モーメントとすべり量の関係式[Nadeau and Johnson(1998)]を使用。得られた積算すべり量と経過時間から最小自乗法を用いてグループ毎の年平均すべり量を求めた。

● 波形例

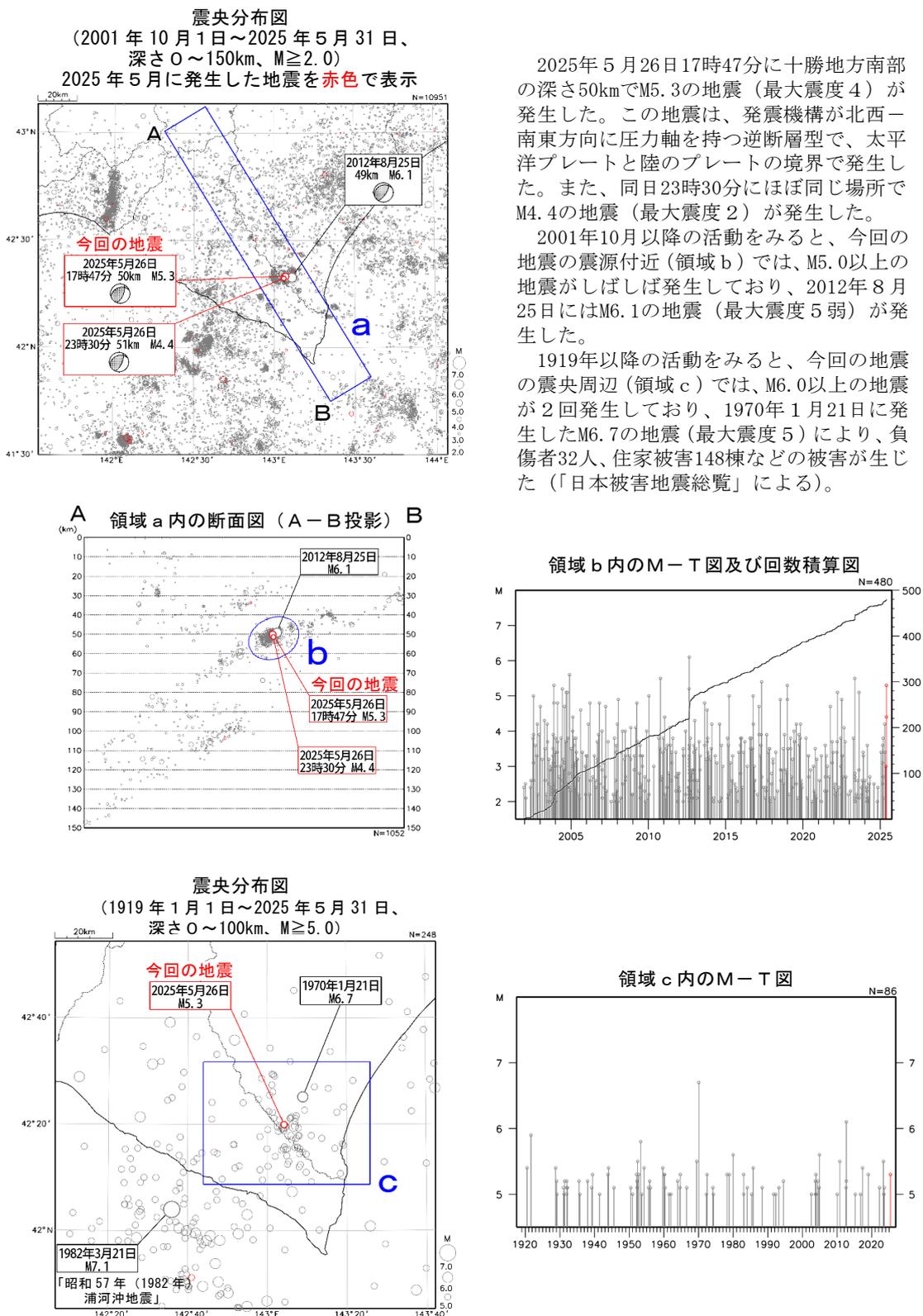
観測点名:新ひだか町静内山手町
 2015/09/12 22:38:01 M5.4
 2025/05/23 06:28:01 M5.4



※変位波形は加速度記録を気象庁59型地震計相当に変換したものを

第3図(b) つづき
 Fig. 3(b) Continued.

5 月 26 日 十勝地方南部の地震



2025 年 5 月 26 日 17 時 47 分に十勝地方南部の深さ 50km で M5.3 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、同日 23 時 30 分にほぼ同じ場所で M4.4 の地震 (最大震度 2) が発生した。

2001 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M5.0 以上の地震がしばしば発生しており、2012 年 8 月 25 日には M6.1 の地震 (最大震度 5 弱) が発生した。

1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が 2 回発生しており、1970 年 1 月 21 日に発生した M6.7 の地震 (最大震度 5) により、負傷者 32 人、住家被害 148 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

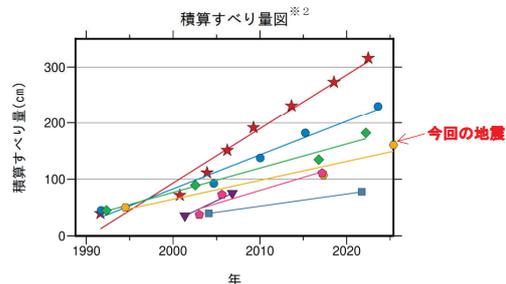
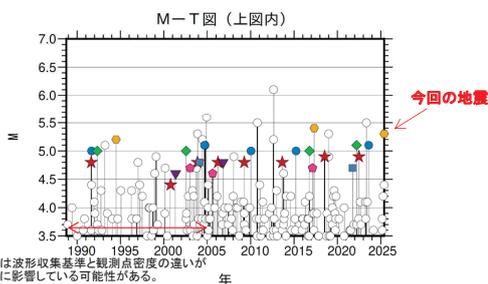
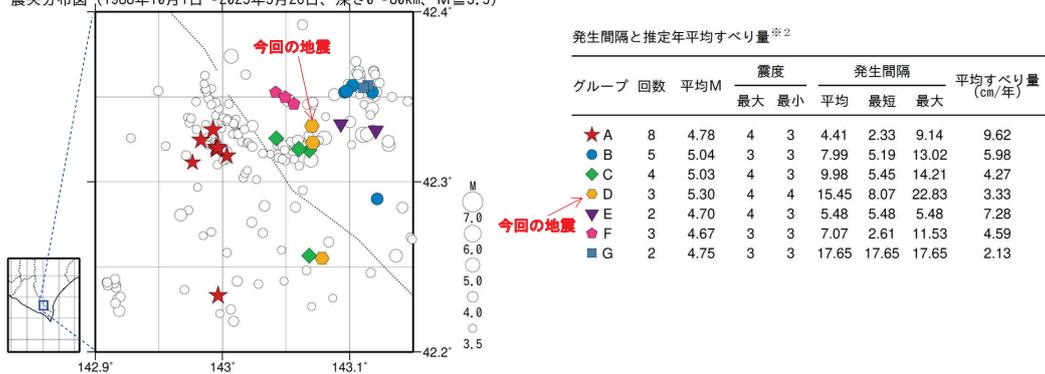
第 4 図 (a) 2025 年 5 月 26 日 十勝地方南部の地震

Fig. 4(a) The earthquake in the southern part of Tokachi region on May 26, 2025.

5月26日の十勝地方南部の地震（相似地震）

十勝地方南部で発生した2025年5月26日(M5.3、最大震度4)の地震について、
強震波形による相関解析を行った結果、既往の相似地震グループの最新の相似地震として検出された(グループD)^{※1}。

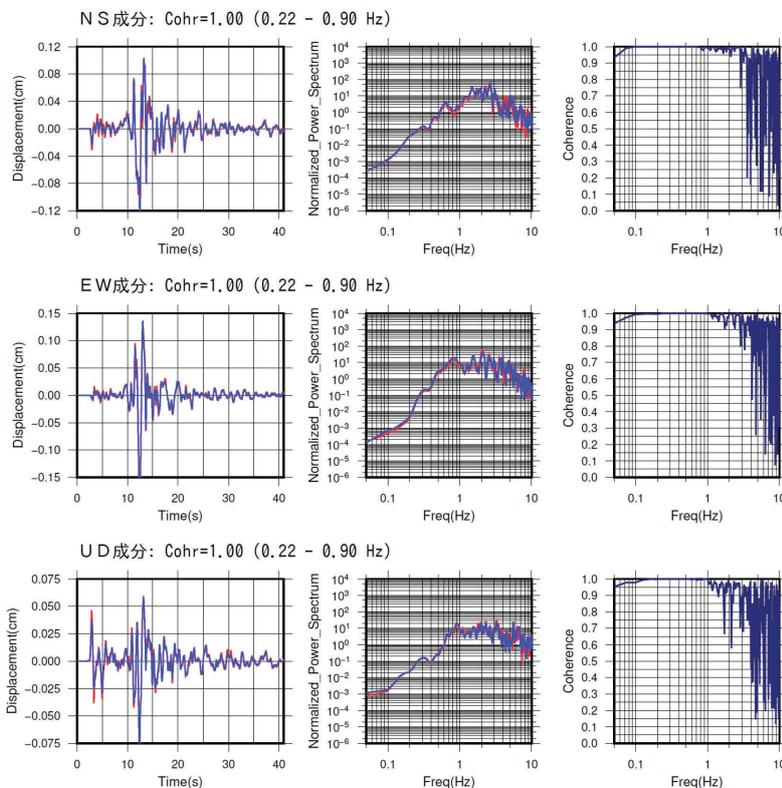
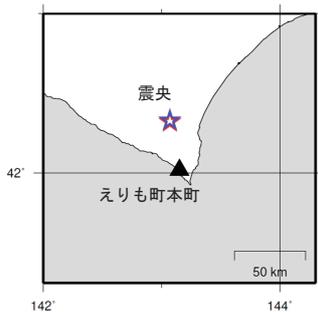
震央分布図 (1988年10月1日～2025年5月26日、深さ0～80km、M \geq 3.5)



赤矢印の期間は波形収集基準と観測点密度の違いが相似地震検出に影響している可能性がある。
^{※1} 各観測点の波形の比較で得られたコヒーレンスの中央値が0.95以上の場合に相似地震として検出し、相似地震のグループ分けはコヒーレンスを用いて機械的にやっている[蒲淵ほか, 2014]。
^{※2} すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式[Hanks and Kanamori(1979)]及び地震モーメントとすべり量の関係式[Nadeau and Johnson(1998)]を使用。得られた積算すべり量と経過時間から最小自乗法を用いてグループ毎の年平均すべり量を求めた。

● 波形例

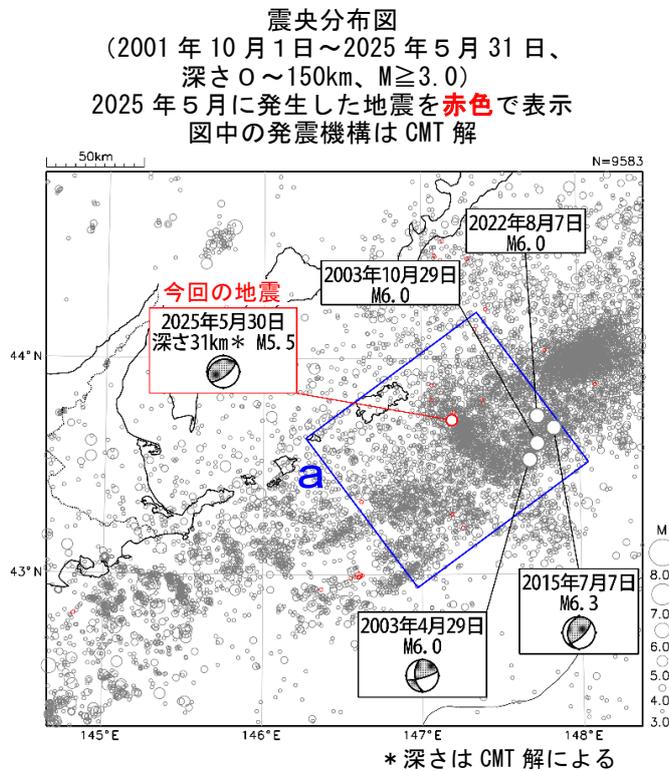
観測点名: えりも町本町
 2017/04/30 23:42:35 M5.4
 2025/05/26 17:47:45 M5.3



※変位波形は加速度記録を気象庁59型地震計相当に変換したもの

第 4 図 (b) つづき
 Fig. 4(b) Continued.

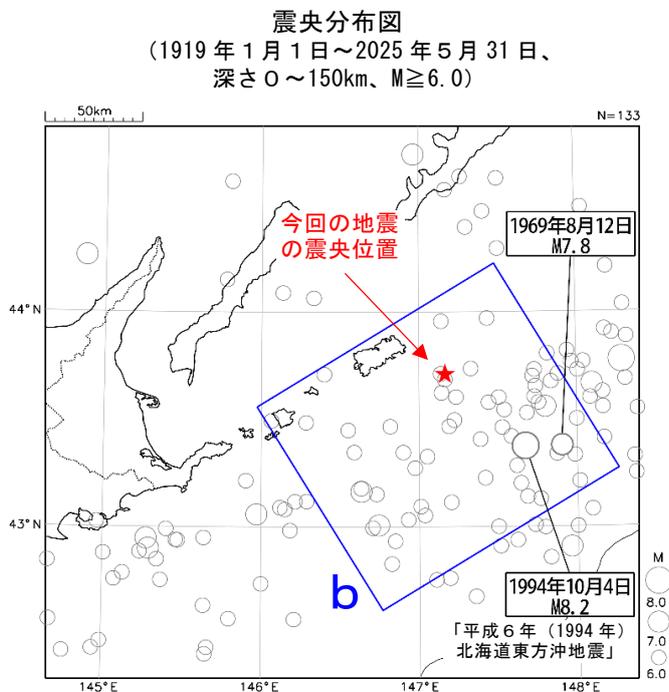
5 月 30 日 北海道東方沖の地震



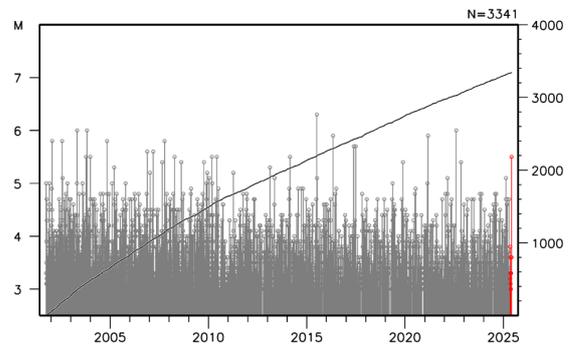
2025 年 5 月 30 日 07 時 23 分に北海道東方沖の深さ 31km (CMT 解による) で $M5.5$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域 a) では、 $M6.0$ 以上の地震が 4 回発生しており、2015 年 7 月 7 日には $M6.3$ の地震 (最大震度 3) が発生した。

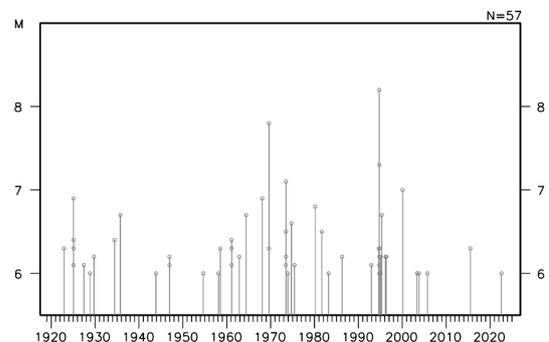
1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、 $M6.0$ 以上の地震がしばしば発生しており、「平成 6 年 (1994 年) 北海道東方沖地震」 ($M8.2$ 、最大震度 6) では、北海道根室市花咲で 168cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波など、北海道から沖縄の太平洋沿岸などで津波を観測した。この地震により、重軽傷者 436 人、住家被害 4,586 棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



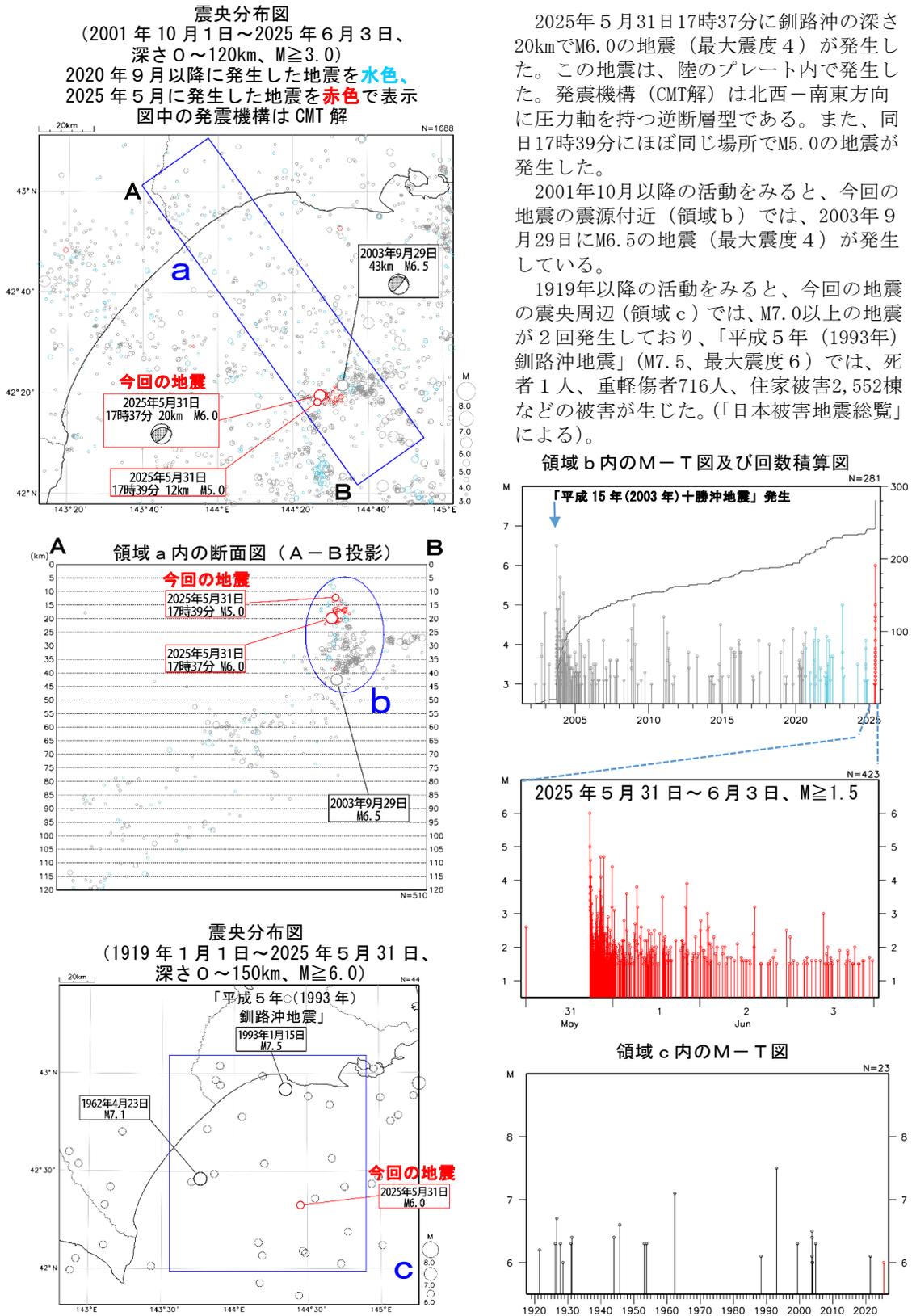
領域 b 内の M-T 図



第 5 図 2025 年 5 月 30 日 北海道東方沖の地震

Fig. 5 The earthquake east off Hokkaido on May 30, 2025.

5 月 31 日 釧路沖の地震



2025年5月31日17時37分に釧路沖の深さ20kmでM6.0の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、陸のプレート内で発生した。発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。また、同日17時39分にほぼ同じ場所でM5.0の地震が発生した。

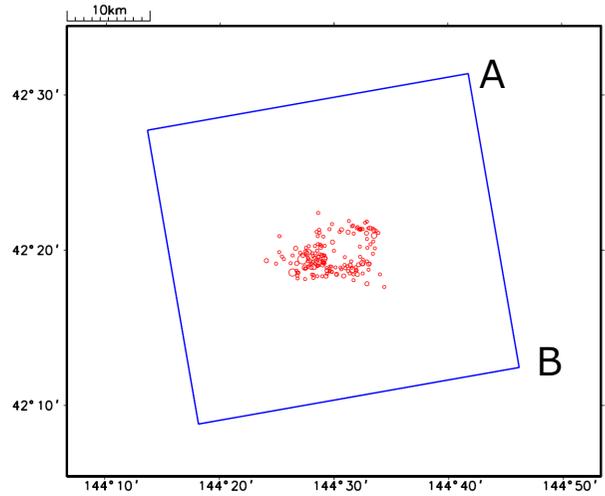
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2003年9月29日にM6.5の地震(最大震度4)が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が2回発生しており、「平成5年(1993年)釧路沖地震」(M7.5、最大震度6)では、死者1人、重軽傷者716人、住家被害2,552棟などの被害が生じた。(「日本被害地震総覧」による)。

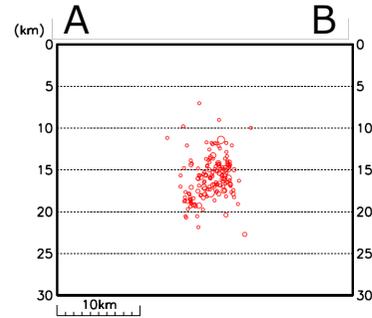
第 6 図 (a) 2025 年 5 月 31 日 釧路沖の地震

Fig. 6(a) The earthquake off Kushiro on May 31, 2025.

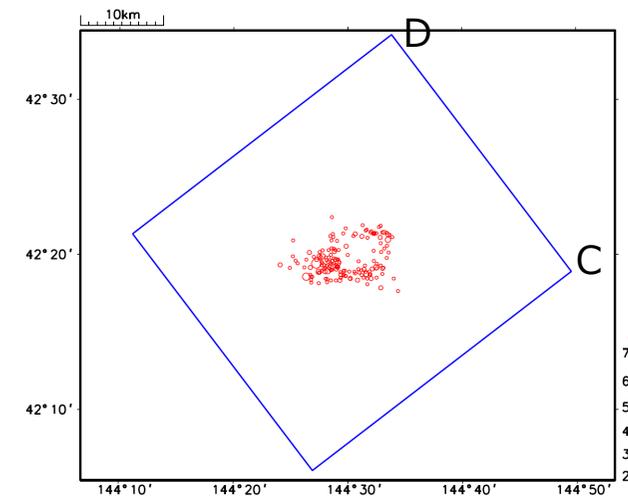
5月31日 釧路沖の地震（波形相関DD法による再決定震源）
震央分布図
2025年5月31日～6月1日、深さ0～30km、 $M \geq 2.0$



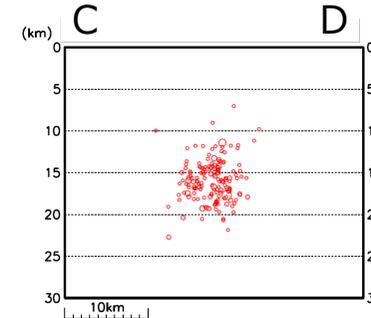
上図の青色矩形領域内の断面図（A-B投影）



M6.0の地震の発震機構（CMT解）の節面①の
走向の直角方向の断面図



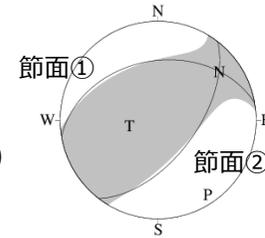
上図の青色矩形領域内の断面図（C-D投影）



M6.0の地震の発震機構（CMT解）の節面②の
走向の直角方向の断面図

M6.0の地震の発震機構
（CMT解）の節面と震源
分布は整合していないように
みえる

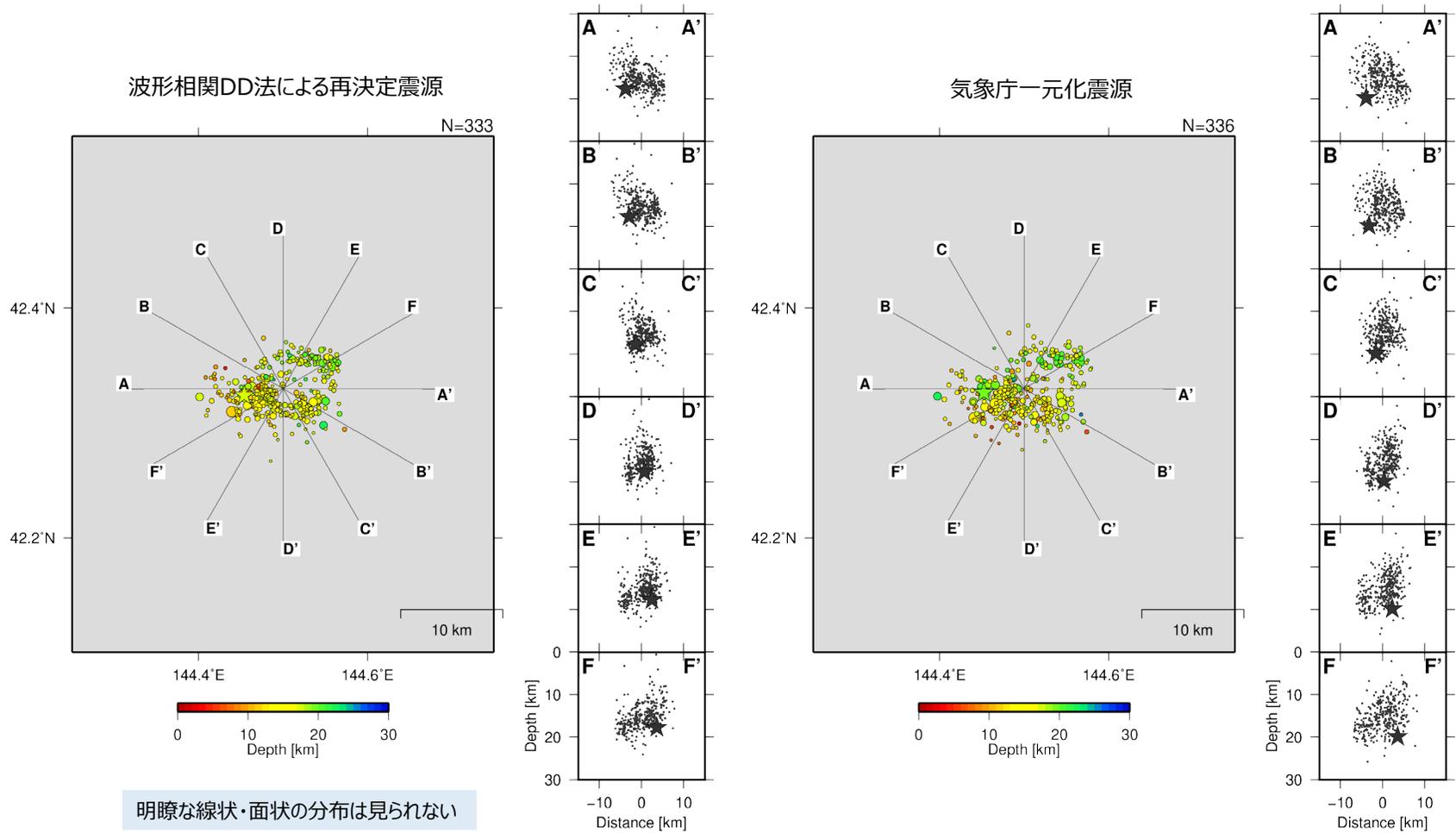
5月31日M6.0の地震の
発震機構（CMT解）



	走向	傾斜	すべり角
節面①	160	40	126
節面②	37	59	126

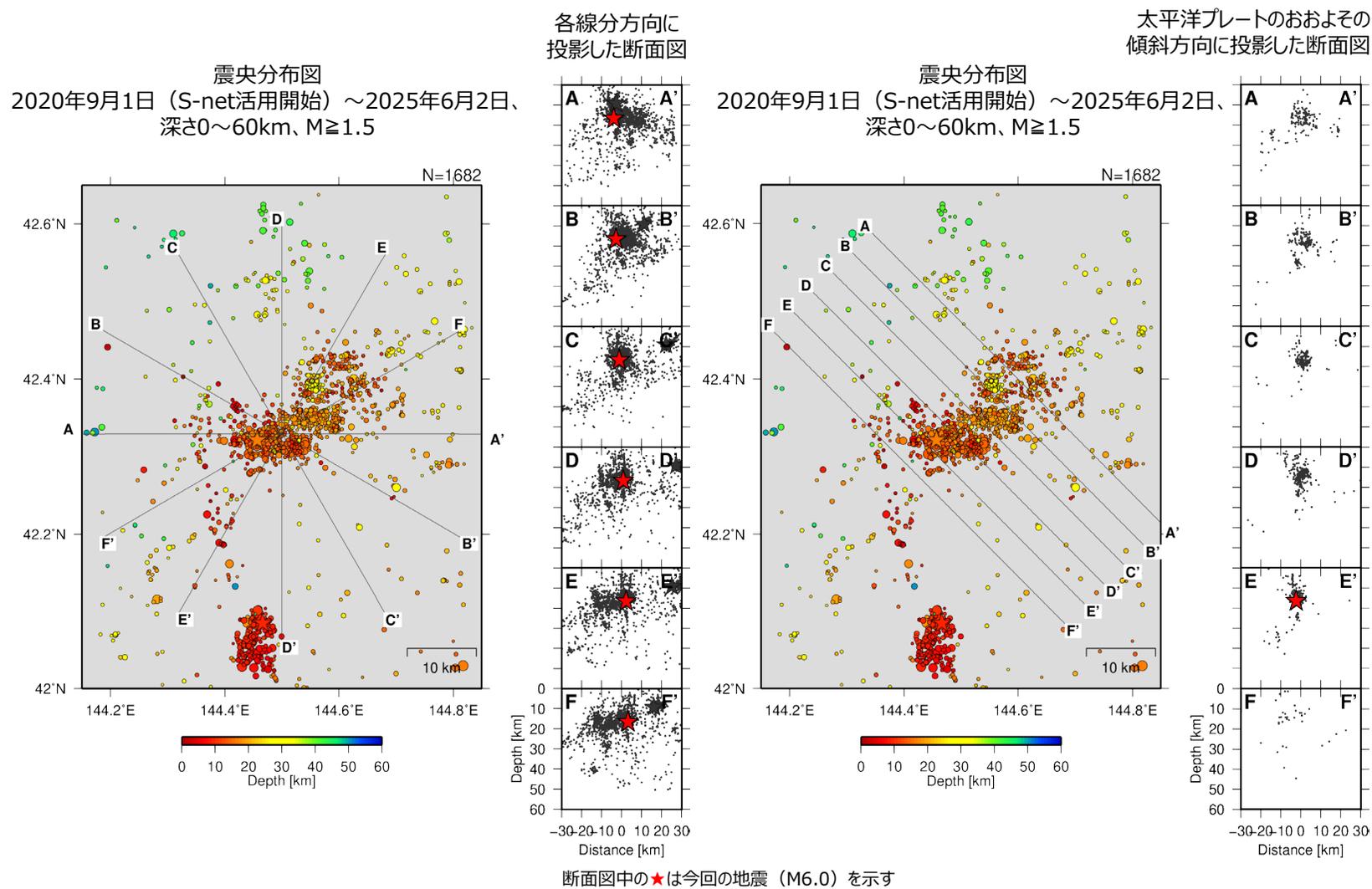
5月31日 釧路沖の地震（波形相関DD法による再決定震源）

2025年5月31日～6月1日、深さ0～30km、 $M \geq 1.5$



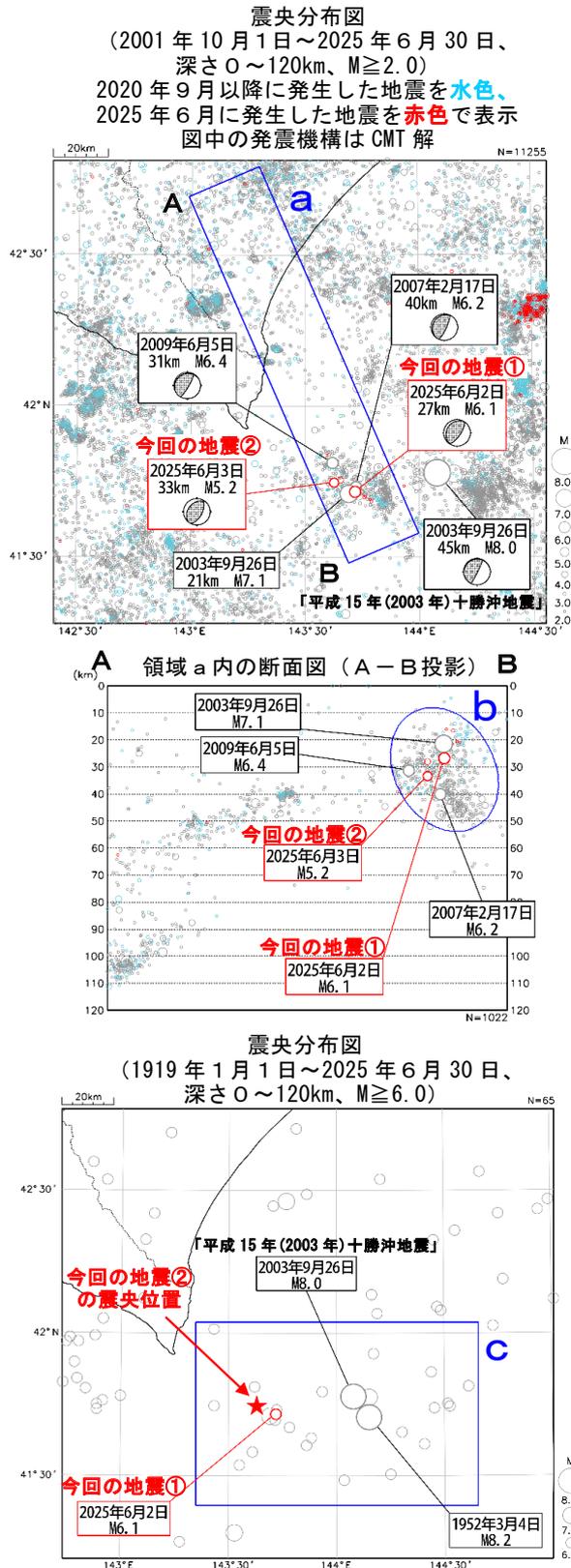
第6図 (b) つづき
Fig. 6(b) Continued.

5月31日 釧路沖の地震 (S-net活用以降の周辺の地震活動の波形相関DD法による再決定震源)



第6図(c) つづき
Fig. 6(c) Continued.

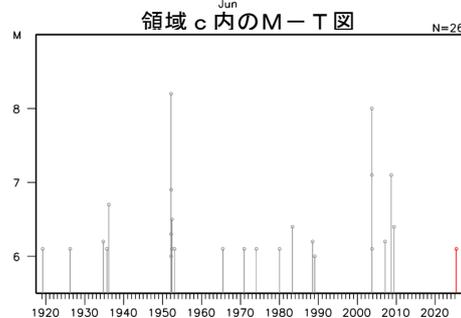
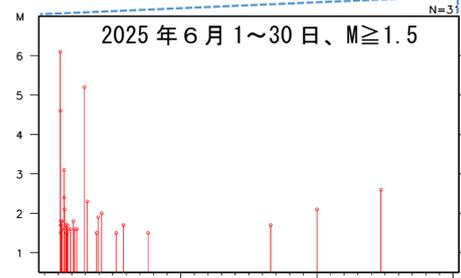
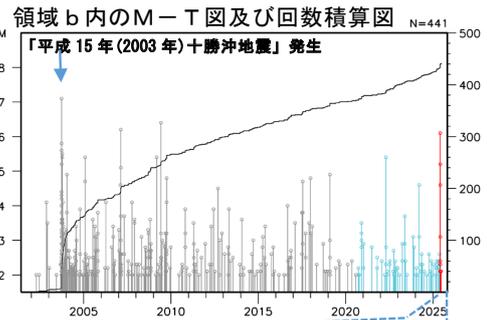
6 月 2 日、3 日 十勝沖の地震



2025年6月2日03時51分に十勝沖の深さ27kmでM6.1の地震(最大震度4、図中①)が、6月3日22時18分にはほぼ同じ場所の深さ33kmでM5.2の地震(最大震度3、図中②)が発生した。これらの地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2003年9月26日に「平成15年(2003年)十勝沖地震」の最大余震であるM7.1の地震(最大震度6弱)が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M8.0以上の地震が2回発生しており、「平成15年(2003年)十勝沖地震」(M8.0、最大震度6弱)では、北海道十勝港で255cmの津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸などで津波を観測した。また、死者・行方不明2人、重軽傷者849人、住家被害2,073棟などの被害が生じた。(被害は「日本被害地震総覧」による)。



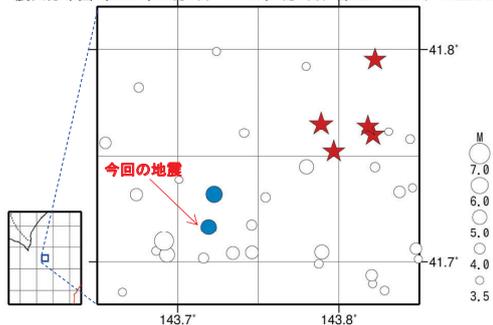
第 7 図 (a) 2025 年 6 月 2 日 十勝沖の地震

Fig. 7(a) The earthquake off Tokachi on June 2, 2025.

6月2日の十勝沖の地震（相似地震）

十勝沖で発生した2025年6月2日 (M6.1、最大震度4)の地震について、
 強震波形による相関解析を行った結果、新たな相似地震グループの最新の相似地震として検出された(グループB)^{※1}。

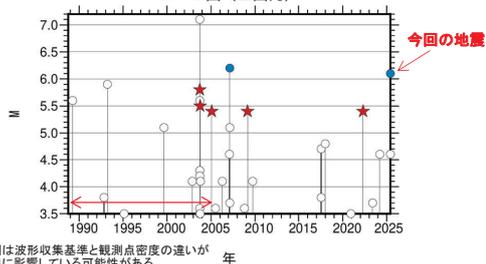
震央分布図 (1988年10月1日~2025年6月2日、深さ0~80km、M≧3.5)



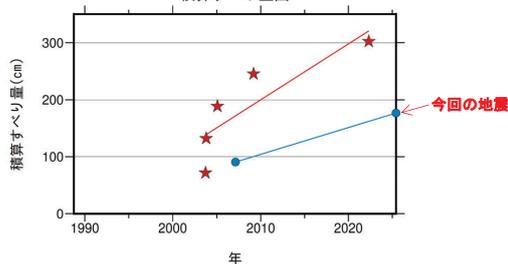
発生間隔と推定年平均すべり量^{※2}

グループ	回数	平均M	震度		発生間隔		平均すべり量 (cm/年)	
			最大	最小	平均	最短		最大
★ A	5	5.50	3	3	4.64	0.04	13.13	9.83
● B	2	6.15	4	4	18.29	18.29	18.29	4.68

M-T図 (上図内)



積算すべり量図^{※2}

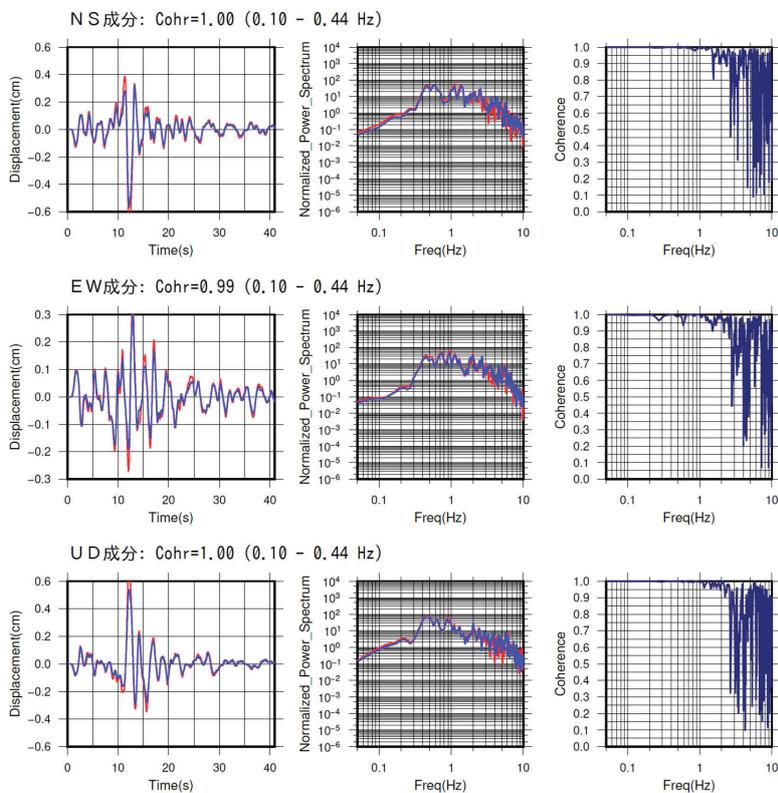
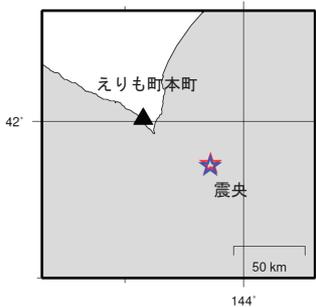


赤矢印の期間は波形収集基準と観測点密度の違いが相似地震検出に影響している可能性がある。

※1 各観測点の波形の比較で得られたコヒーレンスの中央値が0.95以上の場合に相似地震として検出し、相似地震のグループ分けはコヒーレンスを用いて機械的に行っている[蒲淵ほか、2014]。
 ※2 すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式[Hanks and Kanamori(1979)]及び地震モーメントとすべり量の関係式[Nadeau and Johnson(1998)]を使用。得られた積算すべり量と経過時間から最小自乗法を用いてグループ毎の年平均すべり量を求めた。

● 波形例

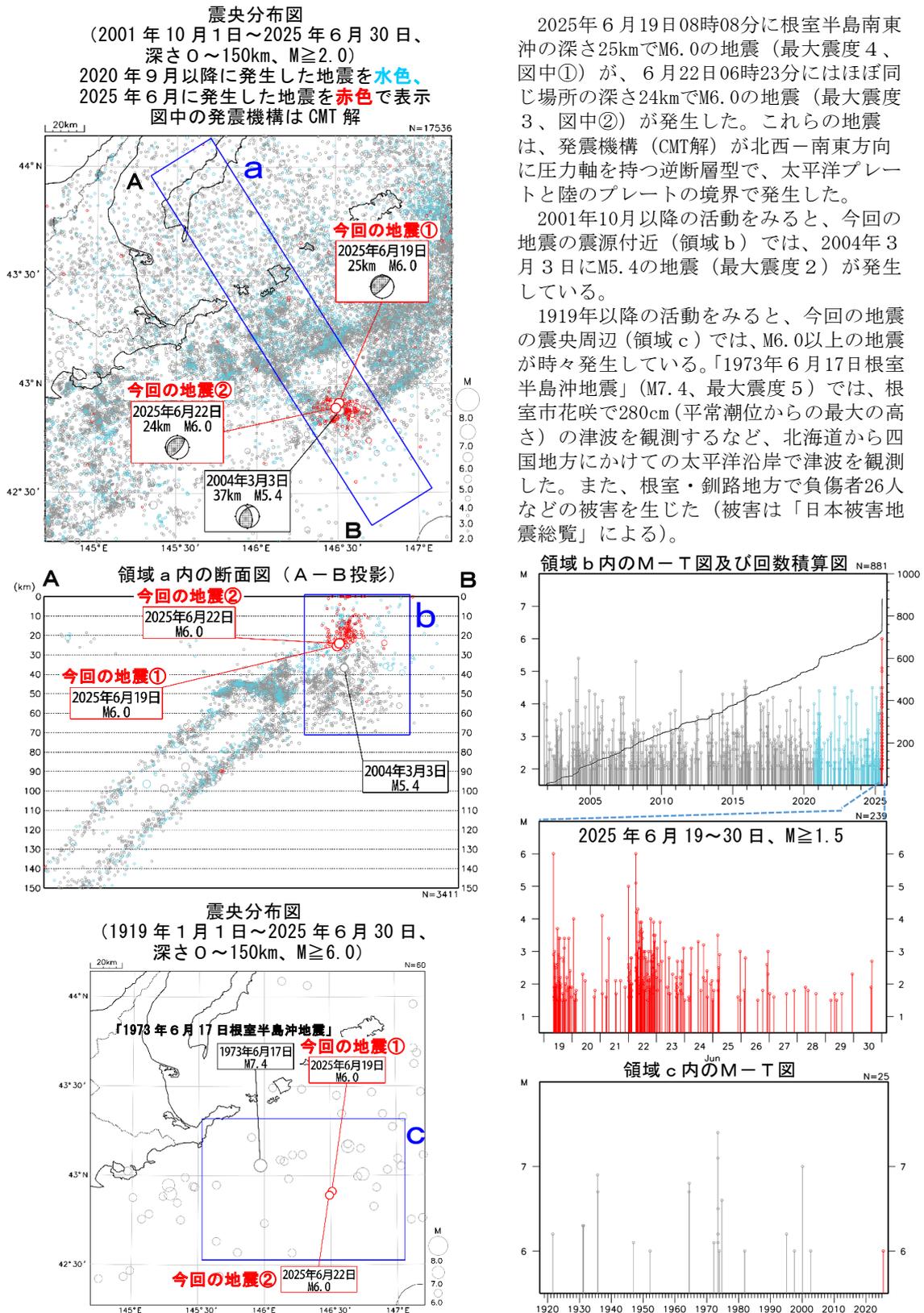
観測点名: えりも町本町
 2007/02/17 09:02:56 M6.2
 2025/06/02 03:51:54 M6.1



※変位波形は加速度記録を気象庁59型地震計相当に変換したもの

第 7 図 (b) つづき
 Fig. 7(b) Continued.

6 月 19 日、22 日 根室半島南東沖の地震



2025 年 6 月 19 日 08 時 08 分に根室半島南東沖の深さ 25km で M6.0 の地震（最大震度 4、図中①）が、6 月 22 日 06 時 23 分にはほぼ同じ場所の深さ 24km で M6.0 の地震（最大震度 3、図中②）が発生した。これらの地震は、発震機構（CMT 解）が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

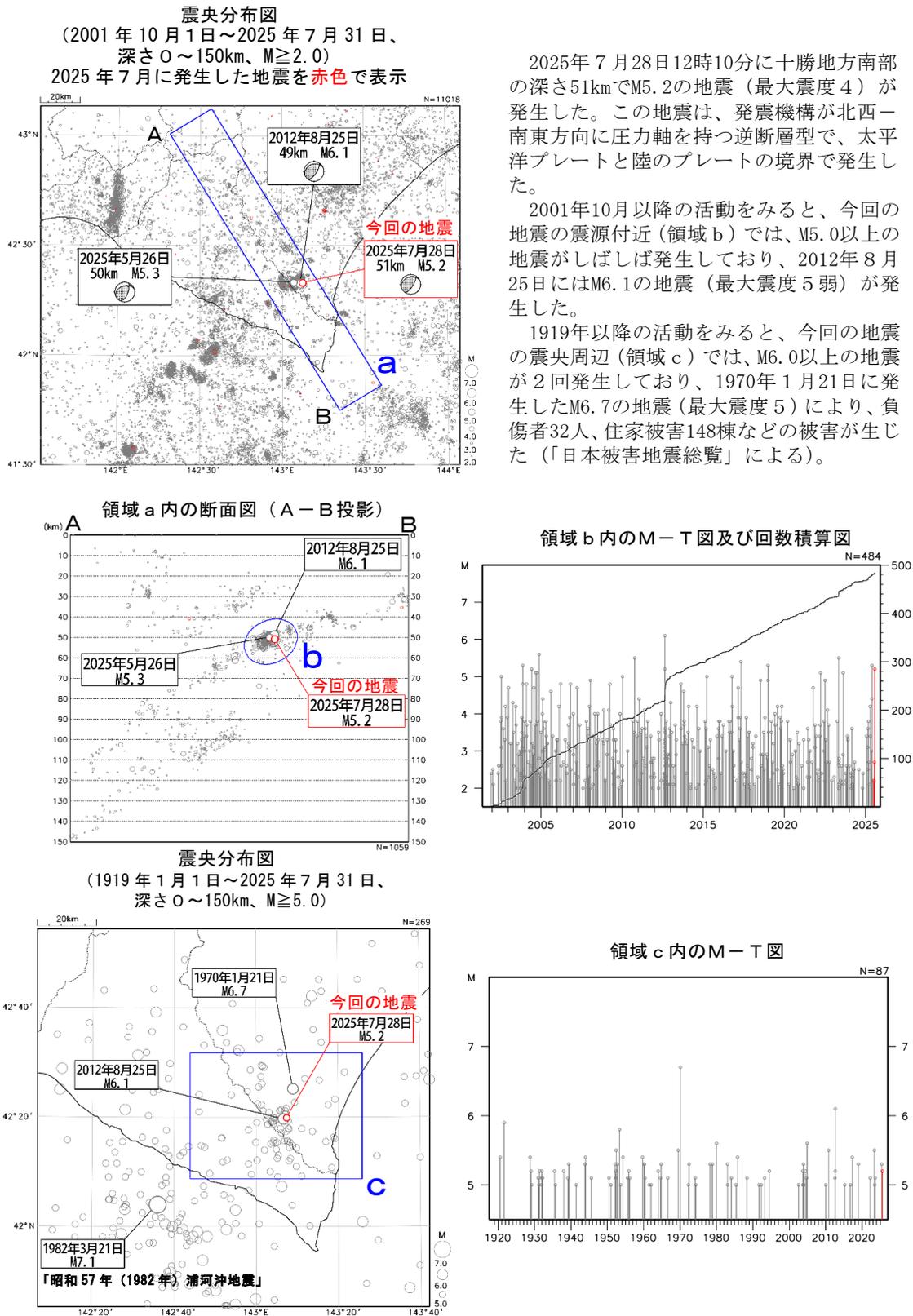
2001 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、2004 年 3 月 3 日に M5.4 の地震（最大震度 2）が発生している。

1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。「1973 年 6 月 17 日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度 5）では、根室市花咲で 280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。また、根室・釧路地方で負傷者 26 人などの被害を生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

第 8 図 2025 年 6 月 19 日 根室半島南東沖の地震

Fig. 8 The earthquake southern east off the Nemuro Peninsula on June 19, 2025.

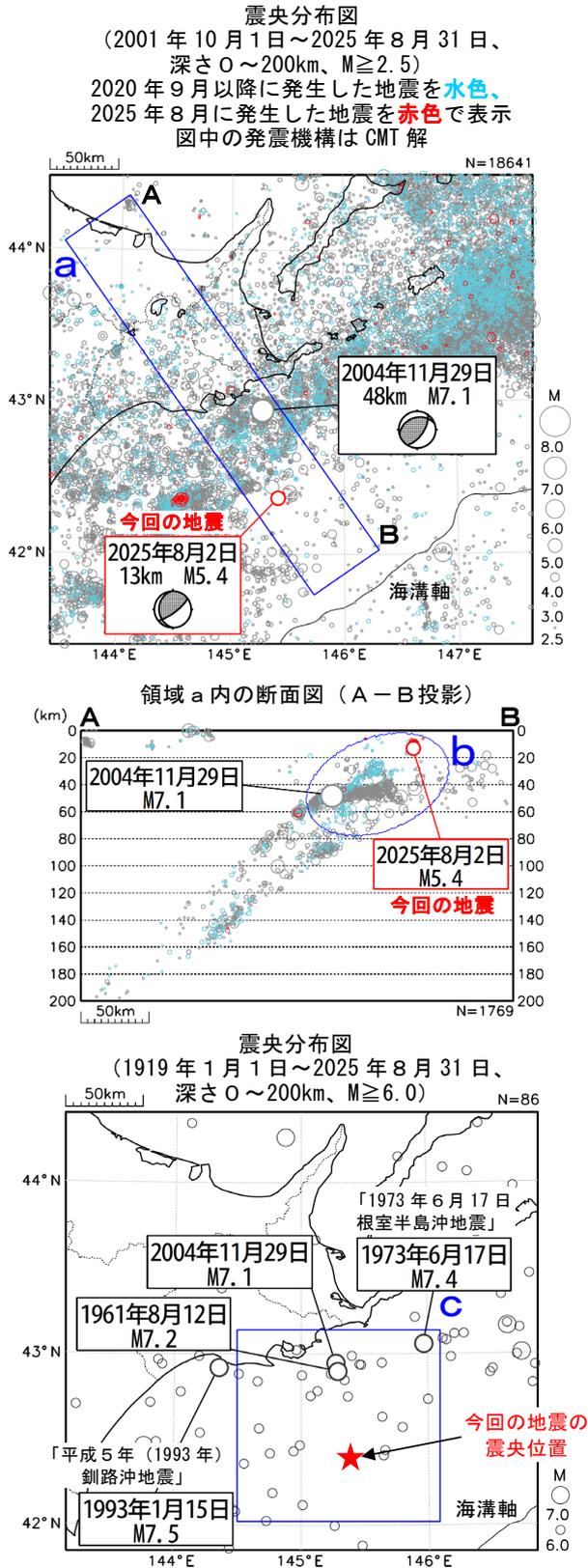
7 月 28 日 十勝地方南部の地震



第 9 図 2025 年 7 月 28 日 十勝地方南部の地震

Fig. 9 The earthquake in the southern part of Tokachi region on July 28, 2025.

8 月 2 日 釧路沖の地震

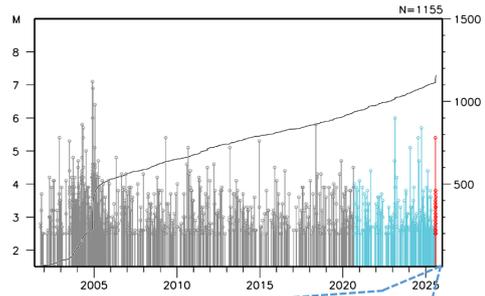


2025 年 8 月 2 日 07 時 27 分に釧路沖の深さ 13km で $M5.4$ の地震 (最大震度 3) が発生した。発震機構 (CMT 解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。

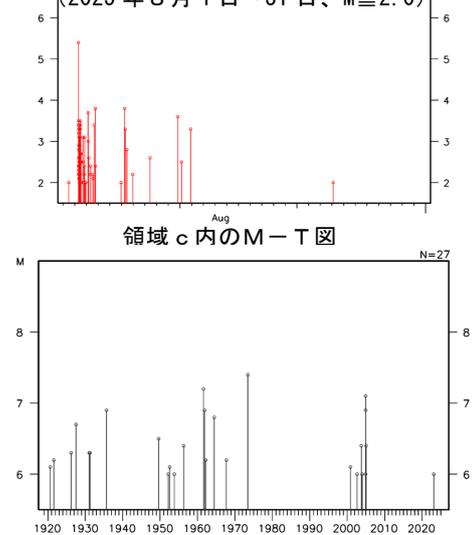
2001 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。最大規模の地震は 2004 年 11 月 29 日の $M7.1$ の地震 (最大震度 5 強) で、根室市花咲で 12cm の津波を観測した。また、負傷者 52 人、住家全壊 1 棟、一部破損 4 棟の被害が生じた (被害は、総務省消防庁による)。

1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M7.0$ 以上の地震が 3 回発生している。最大規模の地震は「1973 年 6 月 17 日根室半島沖地震」($M7.4$ 、最大震度 5) で、根室市花咲で 280cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。また、根室・釧路地方で負傷者 26 人などの被害を生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



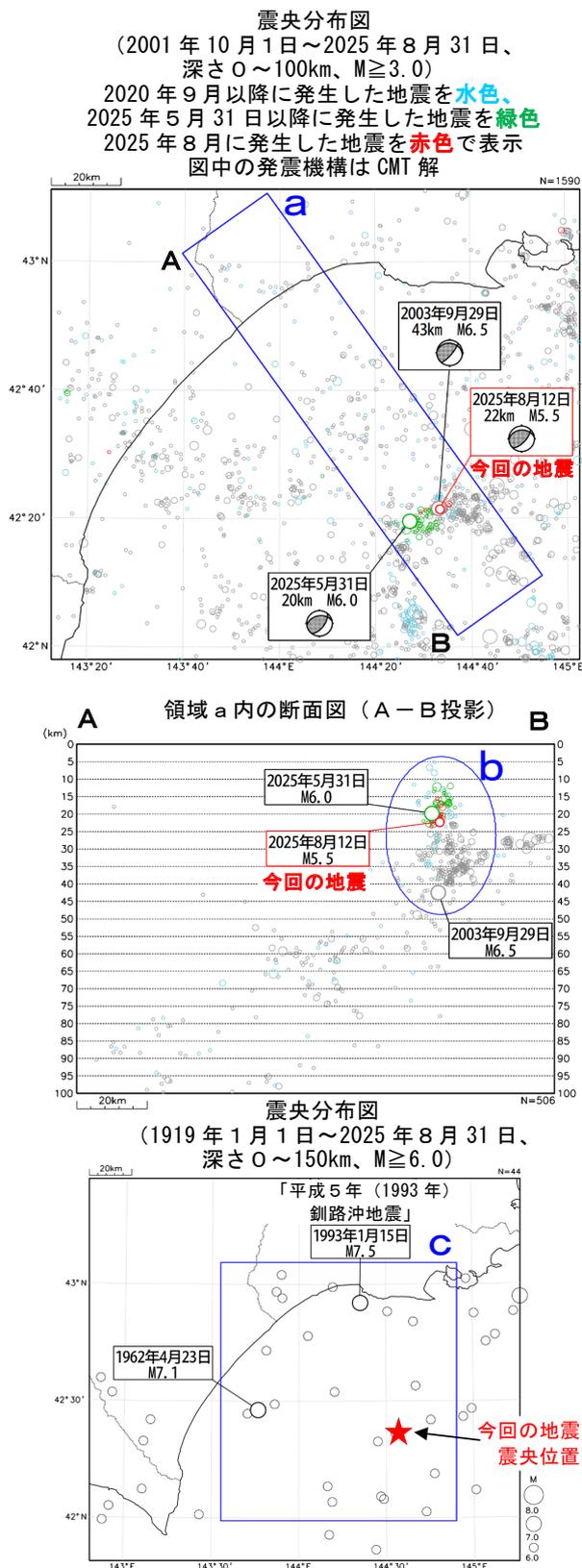
領域 c 内の M-T 図



第 10 図 2025 年 8 月 2 日 釧路沖の地震

Fig. 10 The earthquake off Kushiro on August 2, 2025.

8 月 12 日 釧路沖の地震

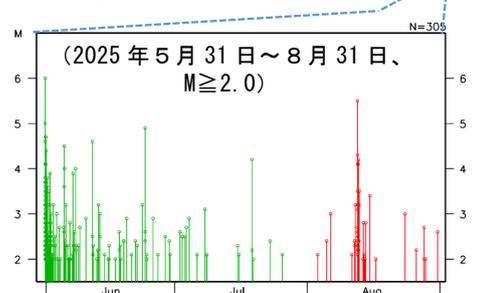
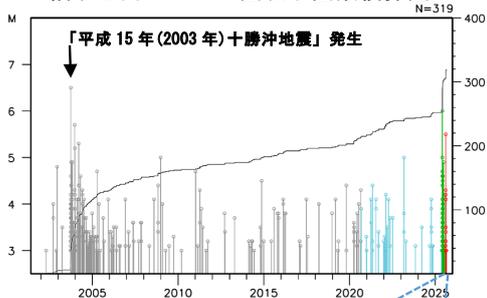


2025年8月12日18時11分に釧路沖の深さ22kmでM5.5の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、陸のプレート内で発生した。発震機構(CMT解)は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この周辺では、2025年5月31日にM6.0の地震(最大震度4)が発生し、地震活動が継続している。

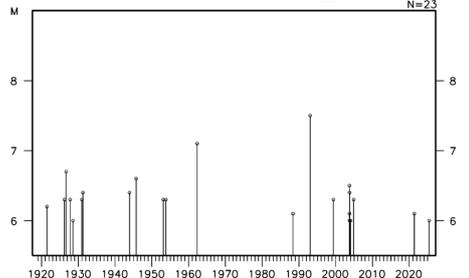
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が時々発生しており、2003年9月29日にM6.5の地震(最大震度4)が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が2回発生しており、「平成5年(1993年)釧路沖地震」(M7.5、最大震度6)では、北海道内で死者1人、重軽傷者933人、住家被害3,471棟などの被害が生じた。(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



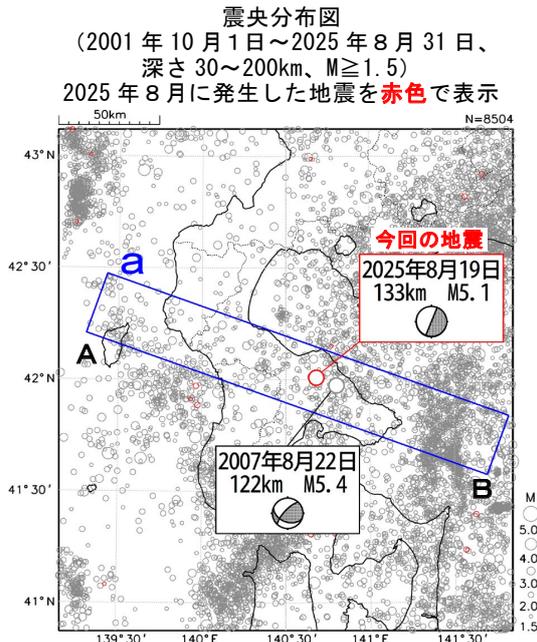
領域 c 内の M-T 図



第 11 図 2025 年 8 月 12 日 釧路沖の地震

Fig. 11 The earthquake off Kushiro on August 12, 2025.

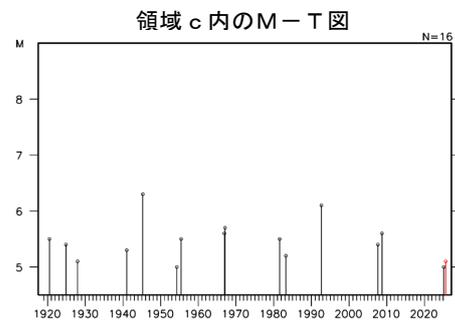
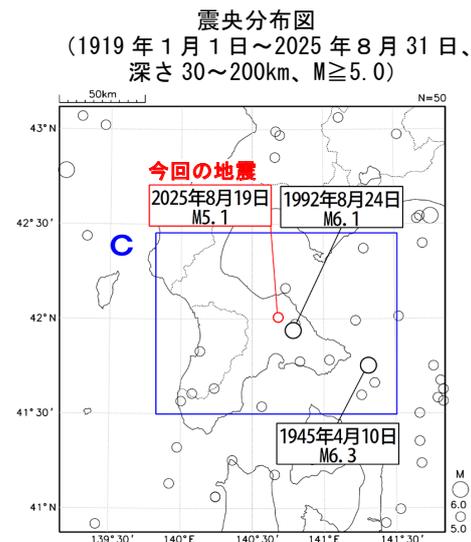
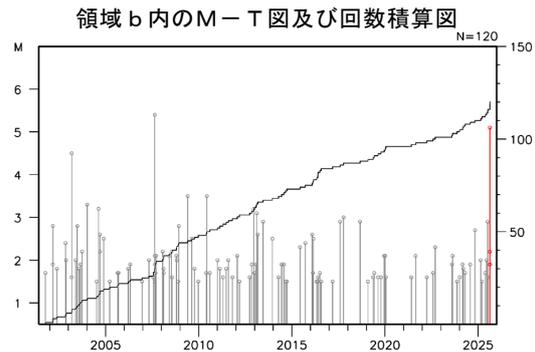
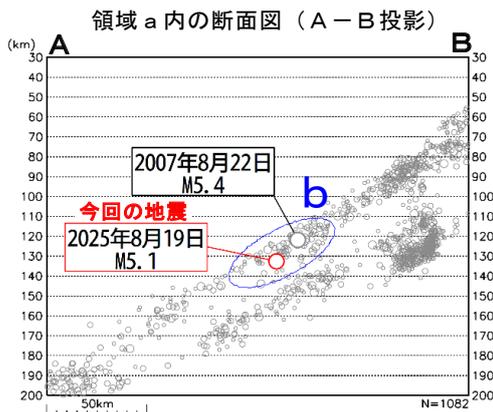
8 月 19 日 渡島地方東部の地震



2025年8月19日07時19分に渡島地方東部の深さ133kmでM5.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、太平洋プレート内部(二重地震面の上面)で発生した。発震機構は太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震は今回を含めて2回発生している。最大規模の地震は2007年8月22日に発生したM5.4の地震(最大震度3)である。

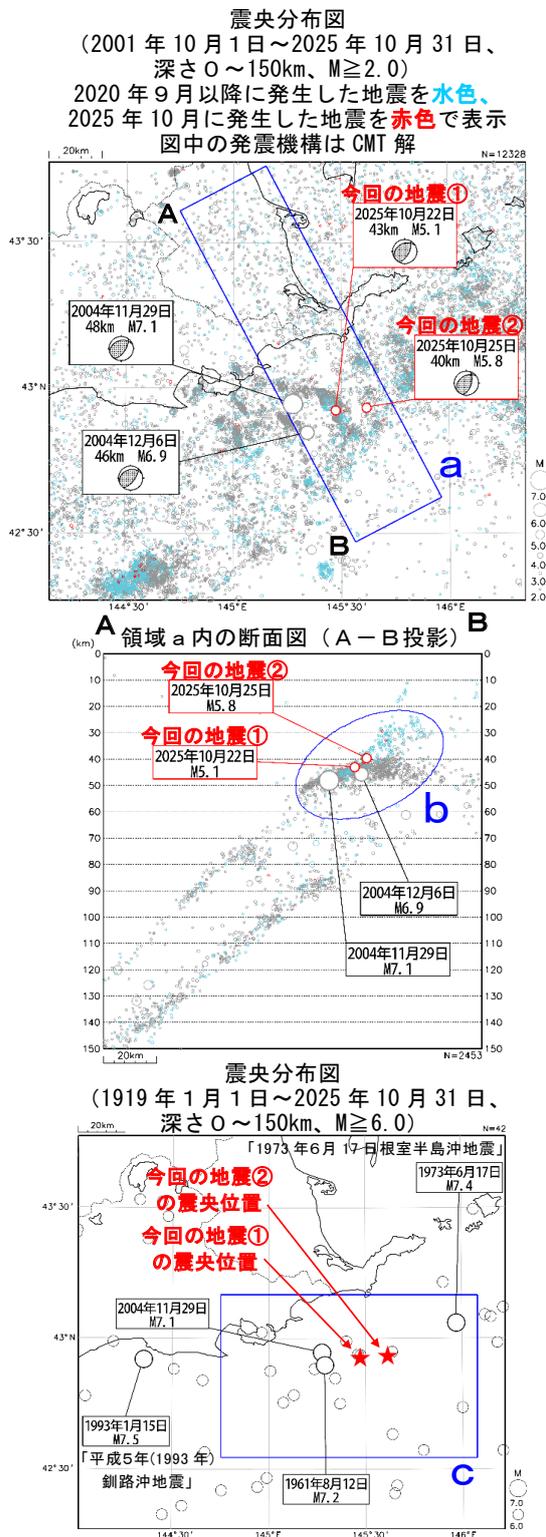
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が2回発生している。最大規模の地震は1945年4月10日に発生したM6.3の地震(最大震度4)である。



第 12 図 2025 年 8 月 19 日 渡島地方東部の地震

Fig. 12 The earthquake in the eastern part of Oshima region on August 19, 2025.

10 月 22 日 釧路沖の地震 10 月 25 日 根室半島南東沖の地震

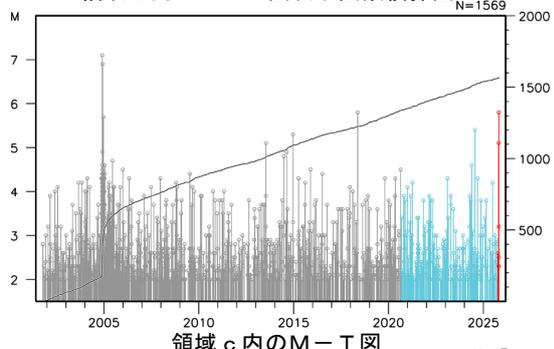


2025年10月22日18時17分に釧路沖の深さ43kmでM5.1の地震(最大震度4、図中①)が発生した。また、25日01時40分に根室半島南東沖の深さ40kmでM5.8の地震(最大震度5弱、図中②)が発生した。いずれの地震も発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

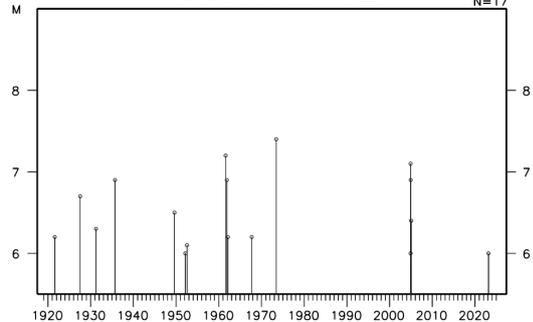
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が時々発生している。2004年11月29日に発生したM7.1(最大震度5強)の地震では、負傷者52人、住家被害5棟などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ12cmの津波を観測するなど、北海道太平洋沿岸東部で小さな津波を観測した(被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が3回発生している。「1973年6月17日根室半島沖地震」(M7.4、最大震度5)では、根室・釧路地方で負傷者26人などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ280cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



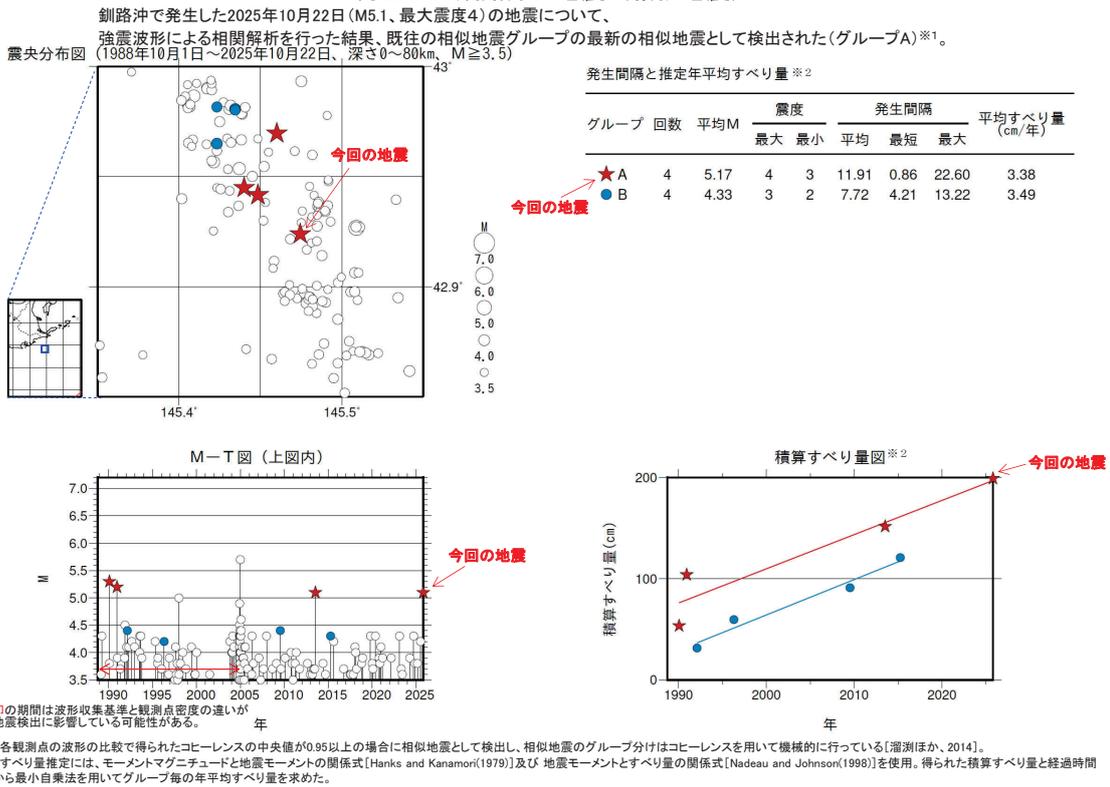
領域 c 内の M-T 図



第 13 図 (a) 2025 年 10 月 22 日 釧路沖の地震及び 2025 年 10 月 25 日 根室半島南東沖の地震

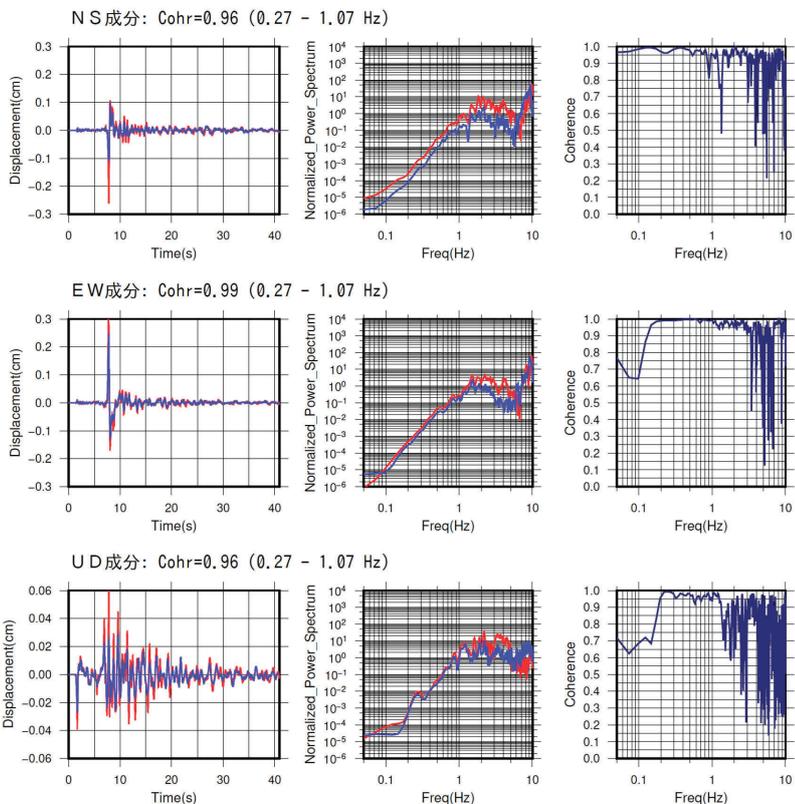
Fig. 13(a) The earthquake off Kushiro on October 22, 2025 and the earthquake southern east off the Nemuro Peninsula on October 25, 2025.

10月22日の釧路沖の地震（相似地震）



● 波形例

観測点名: 浜中町湯沸
2013/07/16 23:09:27 M5.1 —
2025/10/22 18:17:31 M5.1 —



第 13 図 (b) つづき
Fig. 13(b) Continued.